スタートガイド3

「ログインユーザー設定」編

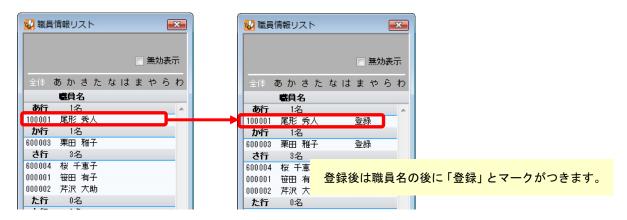
個人情報の保護や情報管理対策に役立つ「ログインユーザー設定」や「システム管理者権限」についてご案内します。管理者様向けのご案内です。 ※ケア記録オプション「ファーストケア・ポータブル」をご利用の場合は、 あらかじめログインユーザー設定が必要です。

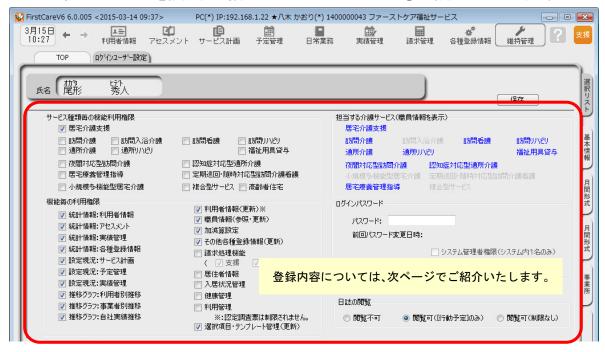
※ログインユーザー設定をしない場合(ログインユーザーが未登録の場合)、ご購入時の初期値 ユーザーでログインします。(ユーザー名「admin」、パスワード「admin」)

職員をログインユーザーに登録します

__1 __ 機能ボタンから《維持管理》ボタンを押してください。 作業タブから〈ログインユーザー設定〉タブを選択し、[ログインユーザー設定] 画面を表示させてく ださい。







4 最後に[保存]ボタンを押します。登録が完了しました。



ログインユーザー設定の登録内容について

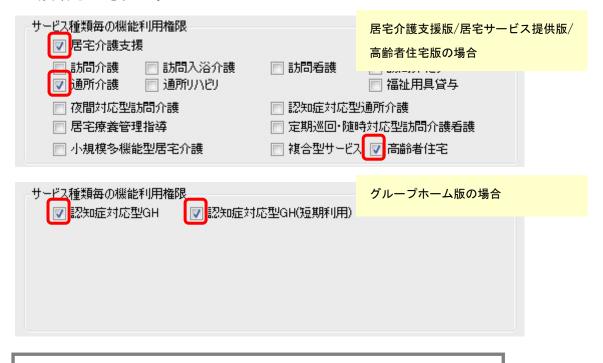
ここではログインユーザー設定の登録内容①~⑥についてご紹介します。 各項目をご確認ください。



① サービス種類毎の機能利用権限

ログインを許可するサービス種類にチェックを入れます。

例) 居宅介護支援と通所介護を連動で利用する場合、居宅介護支援にしかチェックがないと、業務モードの 切り替えができません。



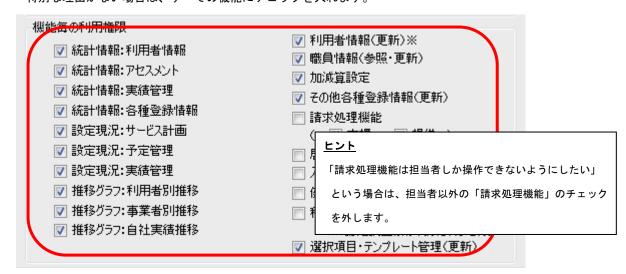
ファーストケア・ポータブルを利用する職員には「サービス種類毎の機能利用権限が 必ず必要です。ファーストケア本体を利用しない場合もサービス種類毎の権限は設定し てください。



② 機能毎の利用権限

操作および閲覧を許可する機能にチェックを入れます。項目はサービスにより異なります。

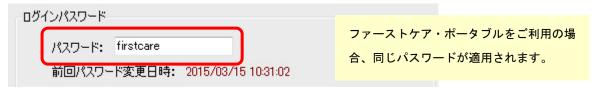
→特別な理由がない場合は、すべての機能にチェックを入れます。



③ ログインパスワード

ログイン時のパスワードを設定します。パスワードは半角英数で入力してください。

パスワードを設定しない場合は、パスワードを未入力でログインすることができます。



④ システム管理者権限(※事業所内で1名のみ設定)

ログインユーザーの中から1名、「システム管理者権限」を持つユーザーを設定してください。 なお、管理者権限を設定した場合、ログイン時の初期値のユーザー名「admin」は表示されなくなります。

「システム管理者権限」とは?

複数の職員がファーストケアを使用する場合、ファーストケアにおけるユーザー管理(登録・削除)、 ユーザーごとの利用権限の設定などが、ファーストケアで利用者の個人情報、および事業所内の情報を 共有するうえで必要となります。

このような管理を行う人がシステム管理者であり、このような管理ができる権限を「システム管理者権限」といいます。

くシステム管理者権限設定後に制限される操作一覧>

「システム管理者権限」を設定すると、以下の操作はシステム管理者権限を持つユーザーしか操作ができないように制限がかかります。

制限される操作	対象となる画面	備考
バックアップデータの復旧	《維持管理》の〈TOP〉の中の「復旧」	
認証番号の登録	《維持管理》の〈TOP〉の中の	ご契約が「月額購入型」の場合は、オンラ
	「認証番号の設定」	インアクティベーションも含まれます。
ログインユーザー設定	《維持管理》の〈ログインユーザー設定〉	
自動バージョンアップ機能	ログイン時の自動バージョンアップ	<ネットワークタイプを利用の場合>
		1 台のPCで自動バージョンアップを行え
		ば、ほかのPCで他ユーザーがログインし
		ても自動バージョンアップが可能です。

※各操作についての詳しい内容は別冊「操作マニュアル」をご覧ください。

ヒント

「システム管理者権限」を設定しない場合は、初期値のユーザー名である「admin」にシステム管理者権限が与えられます。そのため、ファーストケアの保守に必要な自動バージョンアップなどの操作を行う際は、必ずユーザー名「admin」にてログインする必要があります。操作の際に「admin」に切り替えるのが手間と感じられる場合は、システム管理者権限をファーストケアの主担当者の方に設定することをお勧めいたします。

⑤ ヘルパーアサイン管理者権限(※オプション機能「ヘルパーアサイン」をご契約の場合のみ対象)

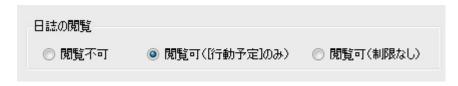
「ヘルパーアサイン管理者権限」を持つユーザーを設定してください。

「ヘルパーアサイン管理者権限」を設定すると、そのほかのユーザーは【ヘルパー勤務管理】と【登録情報管理】 での操作ができないようになります。

※ヘルパーアサイン管理者権限は複数の職員に設定できます。

⑥ 日誌の閲覧

日常業務の【業務日誌】・職員日誌参照での操作制限を設定してください。



<u>ヒント</u>

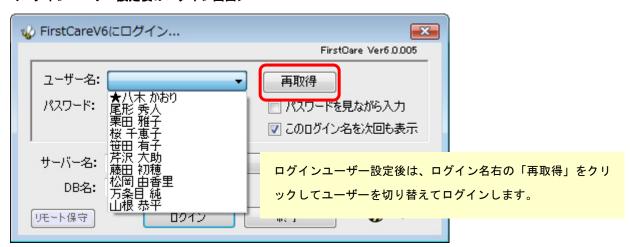
《日常業務》〈業務日誌〉ではあらかじめ業務日誌の雛型を作成し、この雛型を元に日誌を作成します。業務日誌の雛型は「システム管理者権限」のある職員しか作成できません。

ログインユーザー設定後の仕様について

ここではログインユーザー設定を行ったあとの仕様についてご紹介します。

ログインユーザーを設定することで、各種報告書などの作成者欄に自動でログイン名が選択されるなど、 仕様の一部が自動的に変更されます。

<ログインユーザー設定後のログイン画面>



くログインユーザー設定後の仕様変更例>

対象画面		仕様	
日常業務	TOP (連絡メール)	ログイン中のユーザー名でメールの受信・送信を行います。 (他ユーザーへの切り替えはできません。)	
	報告連絡管理	「報告連絡一覧」印刷設定時の「作成者」欄の初期値にログイン中のユーザー名を 表示します。(「作成者」を変更する場合は、他ユーザーに選択ができます。)	
	業務日誌	ログインユーザーを作成者として日誌作成が可能になります。 ※日誌の閲覧に関しては、ログインユーザー設定の内容が適用されます。	
	FAX連絡票	ログインユーザーを作成者として連絡票を作成・閲覧が可能になります。 (他ユーザーでの作成・閲覧はできません。)	

その他計画書作成、ケア記録作成など自動的に作成者が「ログインユーザー」になります。

▼FAX連絡票



▼業務日誌



ログインユーザー設定後は、自動で作成者に名前が入ります。